

令和5年度 和歌山県認知症キャラバン・メイト養成研修 カリキュラム

内容	目的	時間	担当講師
I オリエンテーション * あいさつ * 受講にあたって * 研修内容、すすめ方 * キャンペーン・ビデオ上映(15分) * 認知症サポーター100万人キャラバンの取組について	①キャラバン、事業展開の趣旨を理解する。 ②自治体としての事業の位置づけの理解徹底。	10:00～ 10:20 (20分)	和歌山県
II 認知症サポーターに伝えたいこと ○認知症を理解する 認知症とはどういうものか 認知症の症状 中核症状 行動・心理症状とその支援 認知症の診断・治療 認知症予防についての考え方 認知症の人と接するときの心がまえ 認知症介護をしている人の気持ちを理解する	①認知症サポーター養成講座でサポーターに伝える内容について学習する。 ②認知症とはどういう病気なのか、認知症の人や介護をしている人をどう支援したらよいかを理解する。	10:20～ 12:20 (120分)	認知症介護指導者 長森 秀尊
昼休憩(12:20～13:20)			
III 認知症サポーター養成講座の運営方法 1 サポーター講座の講義内容例 サポーター講座の内容のポイントを確認しよう ○各地のサポーター講座の様子(適宜) ○サポーターの活動事例	標準教材に準拠した標準的講座用スライドの活用法を説明。 ※スライドは協議会より提供のものを使用 全国各地の講座の模様をスライドで紹介。 (住民、職域、学校) チームオレンジの概要紹介	13:20～ 13:45 (25分)	和歌山県
2 キャラバン・メイトの役割と講座運営の実際 ○サポーター養成講座の企画・運営のポイント <u>グループワーク①</u> 講座の展開に協力してもらえそうな機関等はどこだろう …講座の開催先を考える	①認知症の人を地域で支える視点。 ②認知症の人の助けになる地域の社会資源やネットワークを確認する。 ③キャラバン・メイトの役割の理解とサポーター養成講座の対象者を検討。 ④サポーター養成講座を展開するうえで協力してもらう機関の洗い出し。 ⑤グループワーク②③の中で、認知症サポーターとしてできること(第2章該当)を押さえる。	13:55～ 16:45 (170分)	(紀北会場) 認知症介護指導者 田端 恵美 (紀南会場) 認知症介護指導者 川口 利恵
<u>グループワーク②</u> 受講者に合わせたカリキュラムをつくってみよう	①サポーター養成講座の運営方法を確認する。 ②サポーター養成講座の企画や講座のポイントについて理解する。 ③サポーター養成講座受講対象者別カリキュラムの作成。		
IV 事務連絡 キャラバン・メイト登録について 修了証 授与		16:45～ 17:00 (15分)	和歌山県

※休憩時間を適宜はさむ

計 350分 (5時間50分)